

# 第7回日本血液学会 (IJH) 国際シンポジウム報告

The 7th Japanese Society of Hematology, International Symposium

会長 谷本 光音 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 血液・腫瘍・呼吸器内科学)

Mitsune Tanimoto (Department of Hematology and Oncology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences)

この度、兵庫県淡路島夢舞台国際会議場において2016年5月13日(金)、14日(土)の2日間、当科の谷本光音教授が会長として第7回日本血液学会国際シンポジウムを開催いたしました。国際シンポジウムは今回で7回目ですが、アメリカ血液学会 American Society of Hematology (ASH), ヨーロッパ血液学会 European Hematology Association (EHA) との joint session が毎回組まれており密度の高い学会です。今回も2つの学会との joint session 以外に、台湾、中国、韓国、タイからの学会推薦演者が参加した Asian session が開かれ、日本と海外からの研究者が一同に会し、基礎的・臨床的観点から情報を交換し、研究者間の交流を促進する場になりました。学会のテーマは Advances in immunotherapy for hematological malignancies と題し、悪性血液疾患に対する細胞療法の効果を最大化させるための試みに焦点があてられました。血液悪性疾患の病態生理が明らかになるにつれ、免疫療法と薬剤によるがん標的治療との融合が、治療戦略上も重要となってきており、参加者の間で有意義で熱い議論が交わされました。

初日は大変よい天候で、すがすがしい瀬戸内気候のなか、Asian session から開始されました。アジア各

国からの招聘講演と国内外から応募された61演題から優秀な4演題を合わせて8演題が発表されました。続く JSH-EHA Joint Session では Induction of potent antitumor T-cell responses をテーマに4人の講演がありました。JSH-ASH Joint Session では Genetically Engineered T Cells をテーマに同じく4人から発表がありました。近年、改良が進み臨床的にも大きなインパクトが出てきた Chimeric Antigen Receptor (CAR) T cells を中心に発表が行われました。Plenary Session 1 では Augmentation of antitumor immunity by mAbs との副題で主にリンパ腫に対する免疫療法が発表されました。現在のリンパ種に対する免疫チェックポイント阻害剤の成績が総括され、今後の展望も示されました。日が変わって2日目の Plenary Session 2 では Posttransplant immunotherapy と題して究極の免疫療法ともいえる同種造血幹細胞移植の演題が続きました。その他、Edward A. Stadtmauer, MD (University of Pennsylvania) から Immunotherapy for Multiple Myeloma と題し包括的な治療法の進歩について、Special Lecture 1 では Reddy Pavan (University of Michigan) から腸管細菌叢とその代謝産物が GVHD にどう関連するかが、Special Lecture 2 では Thomas



淡路夢舞台国際会議場と隣接ホテル  
快晴の中、すばらしい施設で開催された。



学会会長の岡山大学 谷本光音教授による挨拶



学会会場

世界的な権威による講演を熱心に聞き入る参加者

Schroeder (University of Duesseldorf) から DNA メチル化阻害剤とリンパ球輸注の実際について講演がありました。

Welcome dinner では、谷本光音学会長、赤司浩一日本血液学会理事長、三谷絹子国際委員長の挨拶に続き、金倉譲 前日本血液学会理事長の乾杯で始まりました。ご茶平の連による阿波おどりでは海外演者も踊りに参加し大いに盛り上がりました。天候に非常に恵まれ、さわやかな初夏の風のなか、瀬戸内海に浮かぶ淡路島で国内外の演者が集い、熱い議論が交わされ、研



Welcome dinner

ご茶平の連による阿波おどりでは海外演者も踊りに参加し大いに盛り上がった。

究者間の交流を促進する場になりました。御協力いただいた先生方、医局員、秘書、技術員、関連病院と共催企業の皆様のお陰と深く感謝申し上げます。

(岡山大学病院 血液・腫瘍内科 前田嘉信 記)

---

平成28年 6月受理

〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1

電話：086-235-7227 FAX：086-232-8226

E-mail：yosmaeda@md.okayama-u.ac.jp